

各戸配布

Vol.3



宮津市消防団広報紙

MATOI MIYAZU



令和5年8月16日 宮津燈籠流し花火大会

宮津市消防団

R5.9.20

宮津市消防団の活動内容

宮津燈籠流し花火大会の警備活動

8月16日、宮津燈籠流し花火大会が、4年ぶりに復活しました。宮津市消防団は、宮津分団を中心に花火大会の会場周辺の警備活動に従事しました。宮津市役所での出発式を終えた後、関係機関と協力して警備に当たり、事故なく終わることが出来ました。消防団は常に万が一の事故に備え、訓練や防災活動を行っています。



令和5年度 宮津市消防団 団長点検

宮津市消防団の中村団長による点検を7月に実施しました。この点検は、消防団員の部隊行動を確実にし、厳正な規律を身につけ、消防諸般の要求に適応させるための基礎作りを目的に2年に1回実施しています。

城崎市長の臨席のもと、市内7分団（宮津・由良・栗田・吉津・府中・日置・養老）が日頃の訓練の成果を披露しました。

<団長点検の状況>



宮津分団



宮津分団



由良分団



府中分団



府中分団



養老分団

点検当日に至るまで、各分団それぞれで訓練を実施し、消防技術の向上に励みました。

また、消防団本部員と警防指導員により、事前の訓練指導や当日の審査を行い、宮津市消防団全体のレベルアップを図りました。

令和5年度団本部付警防指導員

宮崎 崇 (宮津)	矢野 篤史 (吉津)
前畑 篤史 (由良)	橋本 知記 (府中)
中嶋 芳明 (栗田)	南 茂幸 (日置)
	田村 堅治 (養老)

<訓練の状況>



栗田分団



吉津分団



日置分団

日置分団の消防車両が新しくなりました

令和5年2月26日、宮津市役所中庭で、日置分団第1部(浜)の小型動力ポンプ付軽四積載車の引渡式がありました。新しい車両は、狭い道や積雪等の悪路にも強いことが特徴です。日置分団は、宮津市内でも積雪の多い世屋地区を担当しており、この消防車両を基盤として、迅速な消火活動に努めていきます。



令和5年春の叙勲 瑞宝単光章(消防功労)を受章

令和5年4月29日、前宮津市消防団団長の上山正行さんが令和5年春の叙勲を受章されました。

消防団員として、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等から防御するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献されました。



消防団の課題

平時には本業をこなしながら、自分の地域で火災等が起こった際に災害対応する消防団員は、全国的に年々減少しています。

原因として考えられるのは、少子化で若者が減っている上、自営業の方が減り、サラリーマン化していることから、職場の理解が必要になっていることも考えられます。また、訓練の負担が大きいという声も全国的に上がっています。

近年、地震や豪雨等の災害が多発しており、消防団はより重要な役割を果たしています。消防団員は地域に密着し、近隣の事情に詳しいことも強みです。あの家には何人住んでいるのか、家のどこで過ごしているのかといった情報は、災害時の救助活動にも役立ちます。

また、大規模災害時には多くの人員が必要で、全国の消防団員数は消防職員数の5倍近くになることから非常に重要です。

宮津市では、国が定める報酬の標準額を支給し、若い団員の声にも耳を傾け、行事の見直しを図り、今の時代に合った活動しやすい環境作りに努めています。



消防団員
と
消防職員
の違い



消防団員	違い	消防職員
非常勤の特別職地方公務員	身分	常勤の地方公務員
団員年36,500円の報酬 (部長、分団長、団長等の階級に応じて増額) 災害出動1回4,000円 (4時間以上の活動で増額) 訓練出動1回1,000円	報酬 給料	消防組合条例で定められる 給料、出動手当等
本業を持ちながら、 災害があれば自宅や職場から出動	勤務体制	災害対応する消防職員は 交代制で24時間勤務



宮津市消防団PRイベント開催

令和5年9月24日(日) 10:00~12:00

島崎公園グラウンドにて

(宮津BANPAKUのイベントで他コーナーもあります!)

- ・吉本のお笑い芸人とのトークショー
- ・放水体験、乗車体験、地震体験ほか

～消防団員募集中～

あなたの力を消防団に

入団希望者は男女問わず入団できます。

消防団に入るとこんな待遇を受けられる

非常特別職の地方公務員となり、年額報酬、災害活動や機械点検等に出動した際などの手当てが各個人指定の口座に支給されます。

詳細はお近くの消防団員または宮津市役所消防防災係まで

TEL 45-1605